

作成日:2021年03月26日

製品安全性データシート

1. 【製品及び会社情報】

カタログ番号	製品名
5730 5731 5732 5733	Corning® 3D 組織透明化試薬

会社名 コーニングインターナショナル株式会社
 住所 東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ7階
 連絡先 03-3586-1996
 利用可能時間:9:00 - 17:30(土曜、日曜、祝日、弊社指定休日を除く)
 使用上の制限 既知の情報なし。

2. 【危険有害性の要約】

GHS 分類

物理化学的危険性

分類できない

健康有害性

急性毒性（経口） 区分4
 眼に対する重篤な損傷性／
 眼刺激性 区分2
 生殖毒性 区分1
 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分1（中枢神経系、視覚器、全身毒性、腎臓）
 区分3（麻酔作用）
 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分1（中枢神経系、視覚器）

環境有害性

水生環境有害性 短期（急性） 区分2

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
飲み込むと有害
強い眼刺激
眠気又はめまいのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
中枢神経系、視覚器、全身毒性、腎臓の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系、視覚器の障害
水生生物に毒性

注意書き

[安全対策]

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[応急処置]

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
口をすすぐこと。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

[保管（貯蔵）]

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

飲み込むと有害
強い眼刺激
眠気又はめまいのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
中枢神経系、視覚器、全身毒性、腎臓の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系、視覚器の障害

3. 【組成、成分情報】

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
2,2,2-トリクロロエタノール	115-20-8	化審法 2-2002	10～30
ポリエチレンオキサイド	25322-68-3	化審法 7-129	10～30
メタノール*	67-56-1	化審法 2-201	10～30
ベンジルアルコール	100-51-6	化審法 3-1011	10～30

*化学物質審査規制法 優先評価化学物質

4. 【応急処置】

ばく露経路による応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

大量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で15～20分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。

急性症状の最も重要な徴候症状

飲み込むと有害

強い眼刺激

眠気又はめまいのおそれ

中枢神経系、視覚器、全身毒性、腎臓の障害

遅発性症状の最も重要な徴候症状

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系、視覚器の障害

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5. 【火災時の措置】

適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡消火剤、乾燥粉末消火剤、二酸化炭素を使用する。

使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

火災時の特有の危険有害性

火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。

特有の消火方法

火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
延焼の恐れのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却をする。
消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業の際は、適切な自給式の呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服（耐熱性）を着用する。

6. 【漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。
少量の場合、ウエス、雑巾等でよく拭き取り適切な廃棄容器に回収する。
大量の場合、盛土等で囲って流出を防止する。
取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取り除く、（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7.【取扱い及び保管上の注意】**取扱い**

技術的対策

「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱注意事項

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

容器を接地すること、アースをとること。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

接触回避

直射日光、高温

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

保管

技術的対策

保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

混触禁止物質

酸化剤、還元剤等

保管条件

直射日光を避け、冷暗所に保管する。高温物を近づけない。

安全な容器包装材料

破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8.【曝露防止及び保護措置】**管理濃度**

200 ppm (メタノール)

許容濃度 (ばく露限界値、生物学的指標)

ACGIH TLV-TWA (2020)

200 ppm、262 mg/m³ (メタノール)

ACGIH TLV-STEL (2020)

250 ppm、328 mg/m³ (メタノール)

日本産業衛生学会 (2019)

200 ppm、260 mg/m³ (メタノール)

25 mg/m³ (最大許容濃度、常時この濃度以上を保つこと)
(ベンジルアルコール)

設備対策

取り扱いの場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。

高温下や、ミストが発生する場合は換気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。

眼及び/又は顔面の保護具

眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

特別な注意事項

情報なし

9. 【物理的及び化学的性質】

物理状態	液体
色	無色透明
臭い	かすかな防腐剤の臭い
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし
引火点	> 200°F (93.3°C) (密閉式)
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	情報なし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度	情報なし
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	該当しない

10. 【安定性及び反応性】

反応性	通常の実験条件下では安定である。
化学的安定性	通常の実験条件下では安定である。
危険有害性反応可能性	通常の実験条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	直射日光を避け、冷暗所に保管する。
混触危険物質	酸化剤、還元剤等
危険有害な分解生成物	火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。

11. 【有害性情報】**製品の有害性情報**

急性毒性 (経口)	情報なし
急性毒性 (経皮)	情報なし
急性毒性 (吸入：ガス)	情報なし
急性毒性 (吸入：蒸気)	情報なし
急性毒性 (吸入：粉じん／ミスト)	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし

生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	情報なし
誤えん有害性	情報なし

成分の有害性情報

2,2,2-トリクロロエタノール

急性毒性（経口）	情報なし
急性毒性（経皮）	情報なし
急性毒性（吸入：ガス）	情報なし
急性毒性（吸入：蒸気）	情報なし
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性	情報なし
皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	情報なし
誤えん有害性	情報なし

ポリエチレンオキサイド

急性毒性（経口）	情報なし
急性毒性（経皮）	情報なし
急性毒性（吸入：ガス）	情報なし
急性毒性（吸入：蒸気）	情報なし
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性	情報なし
皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	情報なし
誤えん有害性	情報なし

メタノール

急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ = 6,200 mg/kg、ヒトで約半数に死亡が認められる用量は 1,400 mg/kg
急性毒性（経皮）	ウサギ LD ₅₀ = 15,800 mg/kg
急性毒性（吸入：ガス）	GHS の定義における液体である。
急性毒性（吸入：蒸気）	ラット LC ₅₀ > 22,500 ppm（4 時間換算値：31,500 ppm）
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	ウサギに 20 時間閉塞適用の試験で刺激性がみられなかったとする未発表データの報告はあるが、皮膚刺激性試験データがなく分類できない。なお、ウサギに 24 時間閉塞適用後、中等度の刺激性ありとする報告もあるがメタノールによる脱脂作用の影響と推測されている。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	ウサギを用いた Draize 試験で、適用後 24 時間、48 時間、72 時間において結膜炎は平均スコア（2.1）が 2 以上であり、4 時間まで結膜浮腫が見られた（スコア 2.00）が 72 時間で著しく改善（スコア 0.50）した。
呼吸器感作性	情報なし
皮膚感作性	モルモットを用いた皮膚感作性試験 (Magnusson-Kligman maximization test) で感作性は認められなかったとの報告がある。なお、ヒトのパッチテストで陽性反応の報告が若干あるが、他のアルコールとの交差反応、あるいはアルコール飲用後の紅斑など皮膚反応の可能性もあり、メタノールが感作性を有するとは結論できないとしている。
生殖細胞変異原性	マウス赤血球を用いた <i>in vivo</i> 小核試験（体細胞 <i>in vivo</i> 変異原性試験）において、吸入ばく露で陰性、腹腔内投与で陰性であった。なお、マウスリンフォーマ試験の代謝活性化 (S9+) のみで陽性結果はあるが、その他 Ames 試験やマウスリンフォーマ試験や CHO 細胞を用いた染色体異常試験など <i>in vitro</i> 変異原性試験では陰性であった。
発がん性	新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) による未発表報告ではラット・マウス・サルの試験で発がん性なしとしている。また、ラットを用いた 8 週齢より自然死するまで飲水投与した試験で、雌雄に頭部と頸部のがん及び雌に血液リンパ網内系腫瘍の発生が有意かつ用量依存的に増加したと報告されている。しかし腫瘍の判定が標準的方法と異なり、動物の自然死後に行われていないため、評価あるいは比較が困難と考えられる。
生殖毒性	妊娠マウスの器官形成期に吸入ばく露した試験において、胎児吸収、脳脱出などがみられ、さらに別の吸入または経口ばく露による試験でも口蓋裂を含め、同様の結果が得られている。メタノールの生殖への影響に関して、証拠の重みに基づく健康障害としての科学的判断がなされ、ヒトのデータは欠如しているが動物による影響は明確な証拠があることから、ばく露量が十分であればメタノールがヒトの発生に悪影響を及ぼす可能性がある」と結論されている。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）	ヒトの急性中毒症状として中枢神経系抑制がみられ、血中でのギ酸の蓄積により代謝性アシドーシスに至る。そして視覚障害、失明、頭痛、めまい、嘔気、嘔吐、クスマウル呼吸、クスマウル昏睡などの症状があり、時に死に至ると報告されている。また、中枢神経系の障害、とくに振せん麻痺様錐体外路系症状の報告もあり、さらに形態学的変化として脳白質の壊死も報告されている。標的臓器としてさらに、眼に対する障害が特徴的であるので視覚器を、また、代謝性アシドーシスを裏付ける症状として頭痛、嘔気、嘔吐、頻呼吸、昏睡などの報告もあるので全身毒性をそれぞれ採用した。一方、マウスおよびラットの吸入ばく露による所見に「麻醉」が報告され、ヒトの急性中毒に関する所見にも、中枢神経系の抑制から麻醉作用が生じている。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	ヒトの低濃度メタノールの長期ばく露の顕著な症状は広範な眼に対する障害だったとする報告や職業上のメタノールばく露による慢性毒性影響として、失明がみられた。また、メタノール蒸気に繰り返しばく露することによる慢性毒性症例に頭痛、めまい、不眠症、胃障害が現れた。
誤えん有害性	情報なし
ベンジルアルコール	
急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ = 1,200～3,100 mg/kg
急性毒性（経皮）	ウサギ LD ₅₀ = 2,000 mg/kg
急性毒性（吸入：ガス）	GHS の定義における液体である。
急性毒性（吸入：蒸気）	データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	ラット 4 時間 LC ₅₀ > 4.178 mg/L (OECD TG 403、GLP 準拠)
	ラット 8 時間 LC ₅₀ > 1,000 ppm (4 時間換算値：8.1 mg/L)
	ラット 4 時間 LC ₅₀ = 8.9 mg/L
皮膚腐食性／刺激性	OECD TG 404 に準拠したウサギを用いた皮膚刺激性試験で非刺激性 (non irritating) と報告されている。ウサギの皮膚刺激性試験の 2 報告で、皮膚一次刺激性インデックス (PII 値) は、それぞれ、1.56、1.83 と報告されている。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	OECD TG 405 に準拠したウサギを用いた眼刺激性試験で、中等度の刺激性 (moderately irritating) と報告されている。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	ヒトパッチテストにて低頻度 (0.3%) であるが、陽性の報告がある。
	25 人のボランティアを対象として、本物質 10% 溶液を 10 日間に 48 時間パッチテストを 5 回行った試験で感作性は示されなかった。
	ヒトにおける非感作性誘導用量 (NESIL) が 5,900 μg/cm ² と報告されており、弱感作性物質 (Weak sensitizer) と結論している。

	<p>モルモットの感作性試験（FCA 法、OET 法）で陽性と報告されている。</p> <p>モルモットの感作性試験（ドレイズ法、マキシマイゼーション法）で陰性と報告されている。</p> <p>CBA/Ca マウスを用いたマウス局所リンパ節試験（LLNA；感作濃度：5%、10%、25%、50%）において EC3 は算出されず、陰性と判定された。</p> <p><i>in vitro</i> 感作性試験（Keratinosens）において陰性と判定されている。</p> <p>LLNA の結果及び臨床所見等から本物質は感作性物質に該当しないと報告されている。</p>
生殖細胞変異原性	<p><i>in vivo</i> では腹腔内投与によるマウス骨髄細胞の小核試験で陰性である。</p> <p><i>in vitro</i> では細菌の復帰突然変異試験で陰性である。また、マウスリンフォーマ試験及び染色体異常試験では代謝活性化系存在下で陽性だが、極めて高濃度かつ細胞毒性濃度での反応であり、<i>in vitro</i> 小核試験では陰性であった。</p>
発がん性	<p>ラットおよびマウスに2年間強制経口投与した発がん性試験で、両種の雌雄ともに発がん性の証拠なし（no evidence）と結論された。</p>
生殖毒性	<p>雌マウスの妊娠6～15日に強制経口投与した発生毒性試験において、母動物毒性（1/50例の死亡）がみられたが発生影響はみられていない。</p> <p>雌マウスの妊娠7～14日に強制経口投与した発生毒性試験において、母動物毒性（19/50例の死亡、チアノーゼ、振戦、衰弱、運動失調等）がみられ、児の出生時体重の減少、その後の体重増加抑制がみられた。</p>
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	<p>本物質を34.8%含有する塗膜剥離剤を吸入した45歳男性が、意識障害を来して昏睡状態で緊急搬送され、血圧低下、進行性の代謝性アシドーシスと尿細管障害による多尿を示し、急性ベンジルアルコール中毒と診断された。事故原因となった剥離剤の他の成分（及び含有量）は、製品のSDSには水（50%以上）、リン酸（1～5%）、ナフタリン及び過酸化水素（いずれも1%未満）と報告されており、上記の影響は本物質によると考えられる。本物質は、皮膚に塗布、又は1%溶液の皮下注射により局所麻酔に使用された経緯がある。</p> <p>ラットの単回経口投与試験において、抑うつ状態、興奮、昏睡がみられた。影響がみられた用量の報告はないが、LD₅₀値である1,230 mg/kg 付近でみられたとすると、区分2に相当する。</p>
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	<p>本物質は、血管内カテーテル洗浄液の保存剤として使用され、低体重児に神経系の阻害及び致死を引き起こした。</p> <p>本物質0.9%を含有する液体の静脈内投与により、低出生体重児に中毒症状（あえぎ呼吸、アシドーシス、痙攣等）が発現した。</p>
誤えん有害性	<p>データ不足のため分類できない。</p>

12.【環境影響情報】**製品の環境影響情報**

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

成分の環境影響情報

2,2,2-トリクロロエタノール

水生環境有害性 短期（急性）	情報なし
水生環境有害性 長期（慢性）	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

ポリエチレンオキサイド

水生環境有害性 短期（急性）	情報なし
水生環境有害性 長期（慢性）	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

メタノール

水生環境有害性 短期（急性）	魚類（ブルーギル）96時間 LC ₅₀ = 15,400 mg/L 甲殻類（ブラウンシュリンプ）96時間 LC ₅₀ = 1,340 mg/L 水溶解度 = 1,00,000 mg/L
水生環境有害性 長期（慢性）	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

ベンジルアルコール

水生環境有害性 短期（急性）	魚類（ブルーギル）96時間 LC ₅₀ = 10 mg/L
水生環境有害性 長期（慢性）	甲殻類（オオミジンコ）21日間 NOEC = 51 mg/L
残留性・分解性	BODによる分解度：94%
生体蓄積性	log Kow = 1.1
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

13.【廃棄上の注意】**残余廃棄物**

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.【輸送上の注意】**国際規制**

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海上輸送（IMO の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質（該当・非該当）	非該当
IBC コード（該当・非該当）	非該当

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

国内規制

陸上規制情報	消防法、道路法に従う。
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
航空規制情報	該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 【適用法令】**該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報**

化学物質審査規制法	優先評価化学物質（メタノール）
化学物質排出把握管理促進法	該当しない
労働基準法	疾病化学物質（メチルアルコール）
労働安全衛生法	作業環境評価基準（メタノール） 第2種有機溶剤等（メタノール）（第1種、第2種有機溶剤を5重量%を超えて含有するもの） 危険物・引火性の物（メタノール） 特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者（メタノール） 第1種有機溶剤又は第2種有機溶剤を5重量%を超えて含有するもの。ただし、第1種有機溶剤を5重量%を超えて含有するものを除く。
	名称等を表示すべき危険物及び有害物（メタノール）（0.3重量%以上を含有する製剤その他の物） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（メタノール）（0.1重量%以上を含有する製剤その他の物）
消防法	第4類引火性液体、第三石油類
毒物劇物取締法	該当しない
大気汚染防止法	揮発性有機化合物（揮発性有機化合物）（排気） 特定物質（メタノール）（排気）
海洋汚染防止法	有害液体物質（Z類物質）（ポリエチレングリコール） 有害液体物質（Y類物質）（メチルアルコール、ベンジルアルコール）
道路法	車両の通行の制限
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項（非環式アルコール並びにそのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体）

16. 【その他の情報】

参考文献

メーカー提供資料

NITE GHS 分類結果一覧（2020）

日本産業衛生学会（2019）許容濃度等の勧告

ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2020) TLVs and BEIs.

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の実施を前提としたものであるため、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

改訂履歴 新規作成 2021年03月26日